

和敬清寂（わけいせいじゃく）～茶道から学ぶ～

～第6学年 総合的な学習の時間～

7月3日(月)、6年生は町田茶道会の講師の方々をお招きして、お香の香りが漂う中、気持ちのよい緊張感のもと、茶道体験を行いました。子供たちは前半に茶道の歴史や所作、「真・行・草」の礼、立ち方、畳の上の歩き方などについて学び、後半にお茶菓子のいただき方とお茶の点て方を教えていただきながら実践しました。

掛け軸に書かれている「和敬清寂」という言葉には、一つ一つにお茶の心が込められているそうです。「和」は、お互いに心を開いて仲良くすること。「敬」は、お互いに敬い合うこと。「清」は、身も心も清らかであること。「寂」は、どんな時も動じない心という意味です。さらに、「茶道のように“道”がつくものは、まず形から入り、心を整え、磨いていくもの。」と、町田茶道会会長の 講師の先生 から教えていただきました。

「楽しみで前日から眠れませんでした。」「繰り返し教えてくださったので、理解することができました。」「先生方に点てていただいたお茶は、まろやかな味で、とても美味しかったです。」「先生方の一つ一つの動作がとてもきれいで、見習いたいと思いました。」「最初は緊張していましたが、最後は楽しくて、茶道が大好きになりました。」など、子供たちの感想からは、充実した時間を過ごしたことが伝わってきました。この茶道体験で得た知識や経験を、今後の学校生活に生かしてくれると信じています。茶道会の皆様、ご多用の中、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

